

視察の内容	ふみの森もてぎのよかった点	ふみの森もてぎのよくなかった点	筑西市立図書館のよかった点	筑西市立図書館のよくなかった点	視察で感じた施設を複合化するメリット	視察で感じた施設を複合化するデメリット	運営体制についてよいと感じたこと、気づいたこと	矢吹町複合施設に取り入れたい点	他に視察してみたい施設等	その他、ご意見ご要望ご感想など
よかった	館長職という専門化と建設段階から参加させていたという事	駐車場の台数は少ないのではないか(イベント等)	二階から全体がほぼ見れるという事	静か過ぎる空気感	様々なアイデア意見等を入れ込める余地がある事	事業のふくらみの心配	わからない	入りやすさを重視した場所		
大変よかった	①内装の板張り ②外側通路の屋根 ③木材が多く使われていた(キール構造等) ④太陽光発電設備 ⑤財源の確保に努力されていた	①建物の配置図より一直線で構成されていない ②人口比にもよるが「駐車場や広場が狭く感じた」 ③バックヤードが狭い	①読書用の机の配置がとても良かった ②書棚の照明は本の取り出しや球交換が容易で良い ③全体空間がスッキリしていてホッとする室内であった	①非常用照明やバッテリー交換時に多大の費用が掛かりそう ②コンクリートむき出しの柱や壁は冬に冷たさを感じる	①多くの方が利用する場所として複合化は有効 ②建設維持管理費、人件費等の経費削減になる	①財源の確保(町の負担をいかに少なくするかが課題) ②建設用地の確保(駐車場を含む土地の確保が大変) ③バックヤードの充実不安あり	①いずれの図書館にもコピーが飲める場所があった ②会議室の利用についてそれぞれに配慮があった(利用拡大への配慮)	①室内の板張り(木質化) ②光と風を充分に取り込んだ室内設計を望みます ③外観は切妻の和風を希望(コンセプト=宿場町)	①県内の新旧施設	①図書館の場合、静かで明るくホッとする様な場所を多くの方が望んでいると考えています。福島県は間伐材活用を推奨していると思いますので、新図書館の腰板はこれの利用を考え、明るい室内空間を作って頂きたい。 ②2ヶ所の訪問で、町が望む中央公民館、図書館、子育て支援、そして屋台蔵の複合施設が同居出来る程、予算と敷地面積があるのかと不安となった。 ③建築後の建物の維持管理の容易性を配慮すべき(設計重視)
大変よかった	図書館からの要望を随所に取り入れられていた。書架や児童コーナーの靴を脱ぎ入れるスペースなど。太陽光が直接本に当たらない工夫。木をふんだんに使用していることで、あたたかみのある施設だと感じた。トイレも幼児の便座やオストメイトの機能があたり、授乳スペースがあるところが良い。各施設(部屋)に防犯カメラがあった。デマントタクシー。	特になし	勉強や調べものスペースがいくつかの種類に分かれており、回りを気にせず学習出来るところが良かった。書架の高さが高すぎず死角になる場所も少ない。	書架上のライト(新しい設備になれば、違う形になっていると思う)	一か所にいくつかの施設があることで、施設利用のついでに図書館に寄ったり、他の施設と協同でイベントや展示などをすることが出来る。集客につながる。	施設の維持管理の仕方	ふみの森は町で運営しているが筑西市は指定管理制度となっており、5年ごととなっているようだ。矢吹町は3年ごとなので、長期的な計画がしにくい。最初は3年で同じ所が受託する場合は、5年になると良いと思う。	ふみの森のように、木を主体とした建物。明るく安心して利用できる場となるような施設づくり。トイレ等の設備は、ふみの森のように良いと思う。	もてぎさんが視察してきたと言っていた所。	図書館について ・何年先を見据えて蔵書数、書架を設置するのか。 ・建物が出来上がっていく中で、引越作業をどのくらいの期間で実施するのか、現図書館の閉館の時期と期間。 ・オープンにあたり、蔵書をどのくらい増やすのか。施設に新たに追加する機能があるのかどうか。 ・図書館システムも変えるのか？ ・現図書館の指定管理がH32年3月迄である。この期間内にオープンするのかどうかと、昨年度実施した指定管理のプレゼンの時には複合施設の話が出ていなかった。3年目は色々なことが変更になると思う。今後の計画やかわりがあることがあれば、早めに教えていただきたい。
大変よかった	木の香りなど木づくりの良さ、ぬくもりを感じた。スペースにゆとりあり。分類に工夫が見られた。国からなどの補助金の活用に工夫が	蔵書数など今後の課題。学校との連携は矢吹町がよい。	福島民報、民友の購読に中心。蔵書20万冊、市内全体で40万冊、さすが市立図書館(市内4つの館あり)					もてぎの「まちなかに新たなにぎわいを」のキヤッチフレーズ、そのまま矢吹町でも。いやしの空間は是非。(そういう視点で、本施設の設置を考えてみてほしい)		事務局、ご苦労様でした。
よかった	・地元産の材木を多く取り入れ、構造材から仕上材まで利用していることは良かった。(地産地消の考え方も良かった) ・補助金の利用の仕方(多方面から補助を受けた)は職員力量と思った。	・木をふんだんに利用している建物なのに、周囲に樹木が一切なかったのが(考え方が)殺風景かなと感じた。(何か意図したものかもしれないが)		・規模が大きいの(電子図書コーナー、DVDコーナー等々あった)参考にしなかった。(大きすぎる)	・多用途の建物を一つに集約することにより、横のつながりができて利用しやすい。		もてぎ館長が図書館の専門員を経験している方だったので、今までの考え方にこだわらず、その地域の特性をつくり運営していることは素晴らしいと思った。	・補助金の利用の仕方(多方面から補助を受けられるように)を考えた方が良く、取り入れるべき。 ・複合化に向けてのハード面は当たり前、ソフト面も平行して進めていくことが重要		
よかった	1. 木を使っていて、空気感が良い。 2. 1F構造で段差がなく安心安全です。 3. 館長が造詣が深く、運営が良い。(説明を聞いた限りでは) 4. 子供のPLAYゾーンが有ること。	エリアの位置がわかりにくい。	電子図書コーナーが有ったところ。	特になし。	コンパクトシティとしての機能が增大する。コミュニケーションの場の提供	なし	カメラオンシステムが良い	・図書館については読書により考える力を養い、映像による感動、感性につながると良い。また、逆に映像から読書に行くもあり。 ・人と人のコミュニケーションの場を設ける。地下室に機械室、資料室、スタジオを作る。	岩手県紫波町(図書館、公民館、売店、歯科医院、スポーツ施設、宿泊所)	・運営方法について特に検討することが大事。 ・複合施設だけでなく、周辺の景観形成にも配慮することで、人が自然と行きたくなくなるような仕掛けやムードをつくる。(例:待合わせ、デート、打ち合わせ、相談会)
よかった	新しい建設、木材の素晴らしい施設整備にあつては木材を活用して木の暖かみ、香りの中で街なかに文化歴史の拠点につくりが立派である。	まだ半年であるのでこれからいろいろ問題が出てくるのではないのでしょうか。			唯一矢吹町に置き換えると複合施設の中には中央公民館(ことぶき大学)行事等々活動を見て又本町の屋台と他の施設文化歴史観光と考えなければならぬ。	複合化を理解して利用する事。	物事を内緒的にせず多くの人の意見を聞き入れている。(人口の割に運営体制人数が多い)	矢吹町の複合施設(矢吹町中央公民館)も入り図書館と他の物件も入るので私はことぶき大学の事が一番責任があるので考えたいと思います。		複合施設の件は町中1/50の動きが忙しい一軒一軒訪問しています。公民館が移動する事で賛否を取っています。一生懸命皆様に説得している日々です。何となく内緒で物事を運ぶのが残念です。希望は山ほどありますが限度がありますし専門家に御任せして、私達も老後のために大変必要とする施設です。分科部(12科)ステージに大ホールと和室、料理室と多々ありますが限度内でお願ひしたいと思ひます。町民の皆様!大変良かったと納得出来る様に自信を持って話して行きたいです。頑張ってください。